

たなべ 未来 創造塾

1～5期活動報告書
(改訂版)

ローカル
イノベーターたちが
地域を救う

自分たちが住む地域は自分たちで変えよう





世界文化遺産
「紀伊山地の霊場と参詣道」

平成16年には、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界文化遺産に登録されました。和歌山県・奈良県・三重県にまたがる3つの霊場（熊野三山、高野山、吉野・大峯）とそこに至る参詣道（熊野参詣道・高野山町石道・大峯奥駈道）及びそれらを取り巻く文化的景観が評価されたものです。さらに平成28年には、闘雞神社と熊野古道のうち未登録だった長尾坂、潮見峠越、北郡越、赤木越が新たに世界遺産となっています。



世界農業遺産
「みなべ・田辺の梅システム」

平成27年には、「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に認定されました。世界農業遺産は、次世代に受け継ぐべき伝統的な農業や農法、それによって育まれた農村文化、農村景観、そしてそれを取り巻く生物の多様性などの保全と活用を目的としています。

和歌山県田辺市

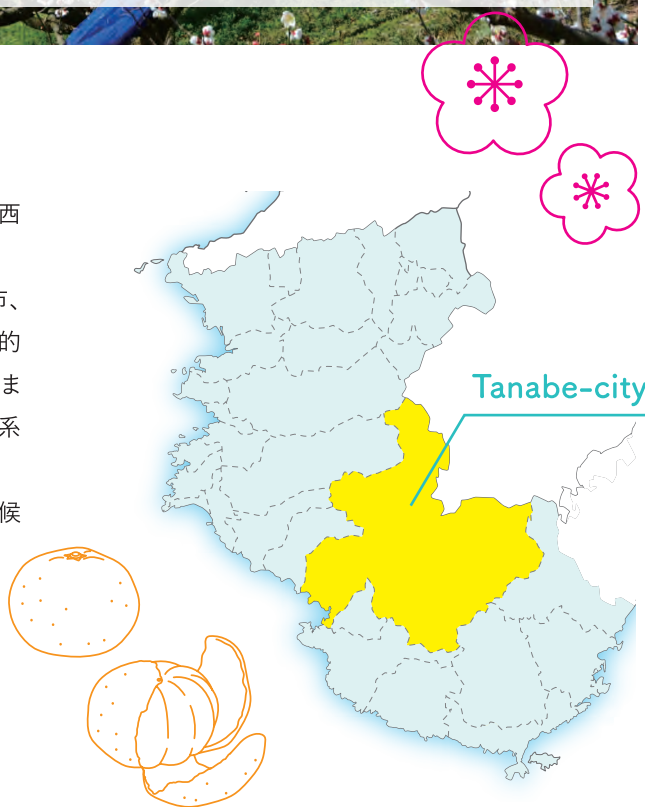
平成17年5月1日、5市町村の合併により誕生した田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県南部に位置する近畿最大の行政区域を有するまちです。

みなべ町、印南町、日置川町、有田川町、奈良県野迫川村・十津川村、新宮市、古座川町、上富田町、白浜町にそれぞれ隣接しており、西よりの海岸部に都市的地域を形成、そこから東向きに森林が大半を占める中山間地域が広がっています。主な水系としては日高川水系、富田川水系、日置川水系、熊野川水系の4水系を抱える広大な圏域です。

気候は、海岸部の温暖多雨な太平洋型気候から山間地における内陸型の気候まで広範囲にわたっています。

総面積：1026.77km²（東西約45km、南北約46km）
※平成25年10月1日現在の国土地理院公表値

総人口：74,770人 男：35,108人 女：39,662人 世帯数：32,163世帯
※平成27年10月1日現在、国勢調査による



地方創生に向けて

国では、東京の一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、それぞれの地域が特徴を生かした自律的で持続的な地域社会の形成を目的に「地方創生」を積極的に推進しています。

田辺市では、全国平均より早いスピードで人口減少が進むと予測されており、内需依存型の経済構造を有する地域のため、人口減少は地域経済に大きなダメージを与えることが明らかとなっています。

さらに、人口減少や少子高齢化が起因となり、空き家や空き店舗の増加、地域の担い手不足など多くの地域課題を引き起こしています。

このような情勢の中、地域に人が住み続けるためには、田辺市の地域課題や自分の課題は何かを見つけ、それらを解決するための接点を見出し、自分の強みや、地域の強み（地域資源）を活用しながら、新たな価値を生み出していくローカルイノベーションが数多く生まれ、それぞれが交わり、結びついていく必要があります。

田辺市では、こうした一人ひとりの取組の積み重ねが、地域の大きな推進力となり、新たな地域づくり、まさに「地方創生」につながるものと確信しています。

キーワードはCSV（共通価値の創造）、ソーシャルビジネス、ローカルイノベーション…
さあ、未来に向けて、新たな一歩を踏み出そう！

CONTENTS

- 1 2つの世界遺産があるまち、田辺市
- 2 地方創生に向けて
- 3 たなべ未来創造塾の背景
- 4 人材育成を「戦略プラン」の柱に
- 5 地域みんなで支える。産学官金が一体となった支援体制
- 6 段階的に学び、自らが考える。
ビジネスプラン構築に向けた実践的プログラム
- 7 第1期概要
- 8 第2期概要
- 9 第3期概要
- 10 第4期概要
- 11 第5期概要
- 12 修了生のその後
- 18 講師陣&運営スタッフ



田辺市長 真砂充敏
（たなべ未来創造塾長）

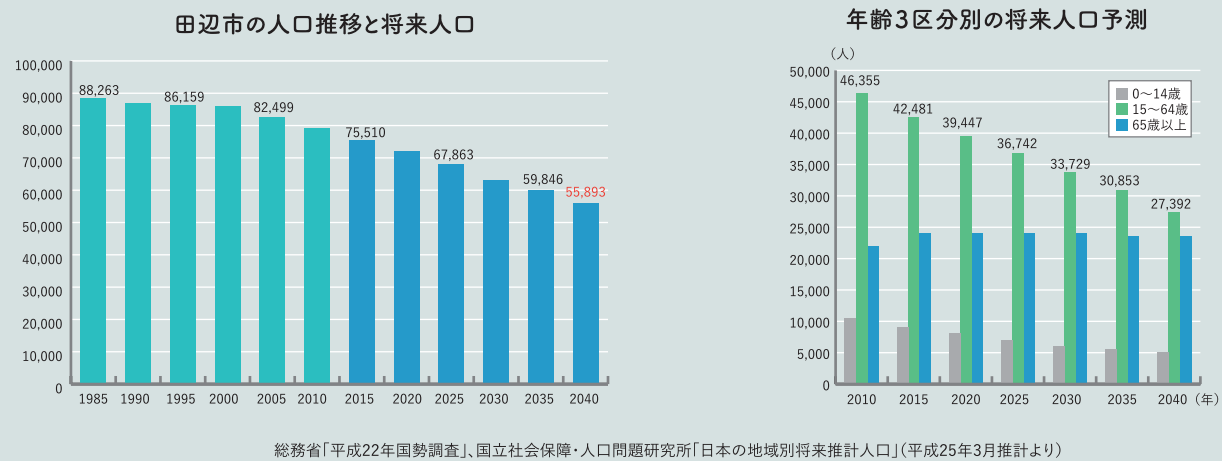


たなべ未来創造塾の背景

田辺市では、平成26年度に世界遺産登録10周年、平成27年度に合併10周年という大きな節目を迎えることから、これらを絶好の機会と捉え、平成26年4月より、「たなべ営業室」を設置し、市そのものの価値を高める「価値創造プロジェクト」を推進してきました。

その取組の大きな柱の一つとして、全国的な人口減少社会の到来と急速な少子高齢化が進展する中、持続可能な地域の形成を目指し、「交流人口の増加」と「地域経済の活性化」を目標とした「価値創造戦略ビジョン・戦略プラン」を策定いたしました。

< 戦略ビジョン・戦略プランの概要 >



田辺市の人口は、全国平均よりも速いスピードで減少が続いており、今後10年間で総人口が約8千人減少すると予測されています。一方、65歳以上人口は今後も減少せず、2025年の高齢化率は約35%に達すると予測されています。

田辺市の産業別市内総生産（2011年度）

産業の特性		地域住民の減少と連動して、規模が縮小していく産業							交流人口で 稼ごうる産業
(単位・百万円)		建設業	電気・ガス 水道業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	運輸業	情報通信業	サービス業
田辺市	実額	19,767	6,255	36,439	11,526	25,768	5,701	7,415	53,952
	構成比	8.7%	2.8%	16.0%	5.1%	11.3%	2.5%	3.3%	23.7%
和歌山県	実額	199,641	72,296	348,972	143,639	426,495	134,962	100,350	599,919
	構成比	5.7%	2.1%	9.9%	4.1%	12.2%	3.9%	2.9%	17.2%
(参考)	実額	60,305	34,577	161,723	78,805	197,659	56,809	45,540	255,025
和歌山市	構成比	3.6%	2.1%	9.8%	4.8%	11.9%	3.4%	2.7%	15.4%

産業の特性		地域住民が減少しても、地域外への 販路拡大によって稼ごうる産業						
(単位・百万円)		農業	林業	水産業	鉱業	製造業	政府サービス 生産者	対家計民間 非営利サー ビス生産者
田辺市	実額	5,739	631	1,064	101	16,941	30,447	5,572
	構成比	2.5%	0.3%	0.5%	0.0%	7.5%	13.4%	2.5%
和歌山県	実額	66,750	2,270	7,222	1,128	986,259	367,174	79,972
	構成比	1.9%	0.1%	0.2%	0.0%	28.0%	10.5%	2.3%
(参考)	実額	5,515	57	237	0	562,519	165,980	33,571
和歌山市	構成比	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.9%	10.0%	2.0%

和歌山県「平成23年度市町村民経済計算」より作成

田辺市は紀南地域の拠点都市という特性と人口集積を背景として、内需依存型の経済構造を形成してきました。田辺市内の総生産額に占める卸売・小売業とサービス業の比率はそれぞれ16.0%と23.7%で、和歌山県の平均や和歌山市の値を大きく上回っています。田辺市は周辺地域に財・サービスを提供することで地域経済が成り立つ商業都市としての性格が強く、人口減少と連動して経済規模も縮小していくことが予想されています。

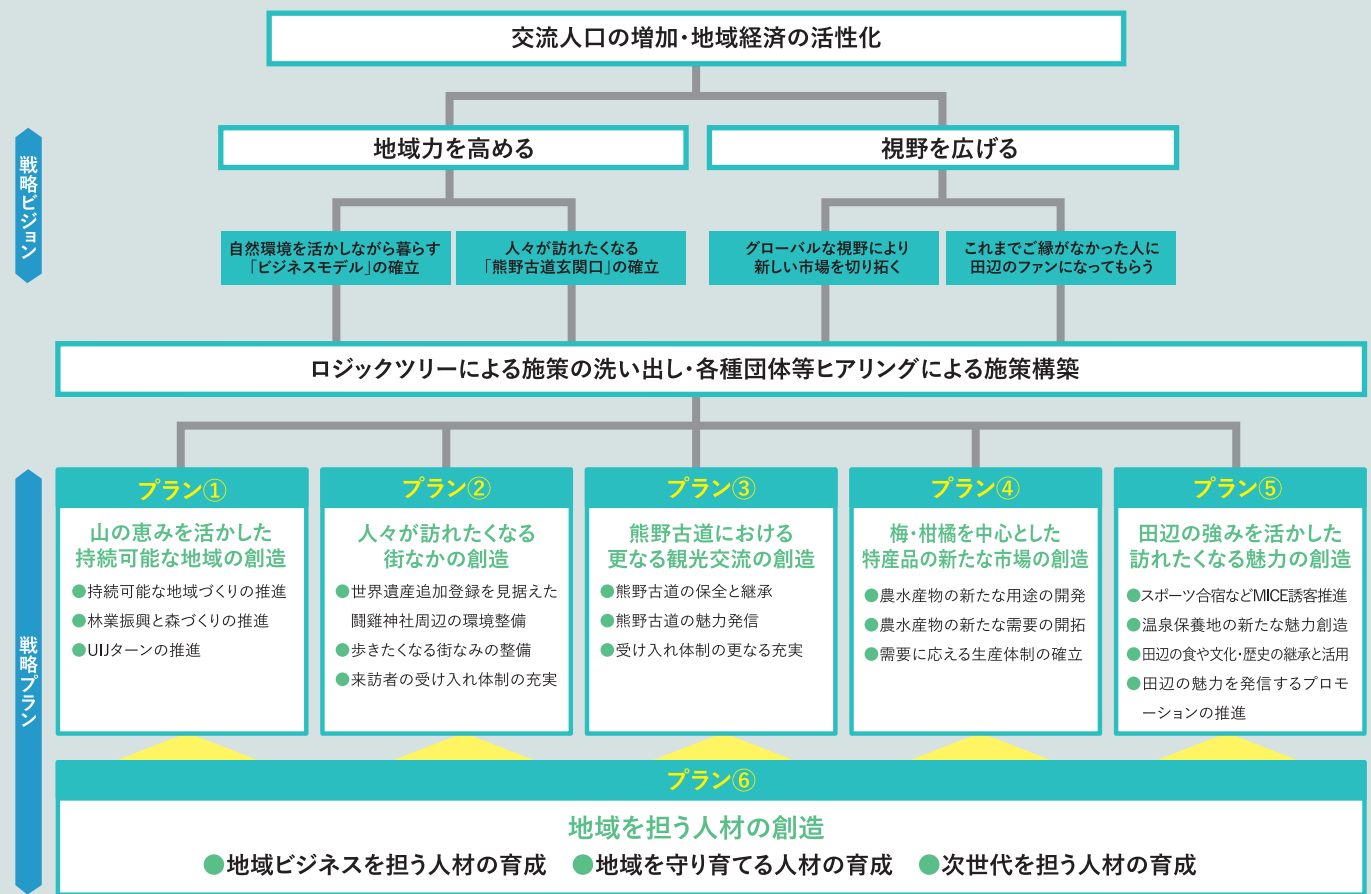
こうしたことから、「戦略ビジョン・戦略プラン」では、「交流人口の増加」と「地域経済の活性化(外貨獲得と地域経済循環)」を目標に掲げ、各種施策を構築することといたしました。



人材育成を「戦略プラン」の柱に

< 戦略プランにおける施策一覧表 >

「交流人口の増加」と「地域経済の活性化(外貨獲得と地域経済循環)」に向けて、戦略ビジョンにおいて定めた基本方針のもとに、ロジックツリーによる施策の洗い出しや各種団体へのヒアリング等を通じて、下記の6つのプラン19施策を導きだし、「戦略プラン」の柱として、たなべ未来創造塾を【プラン⑥】「地域を担う人材の育成」における「地域ビジネスを担う人材の育成」に位置付ける中で、取組を進めることといたしました。



社会情勢

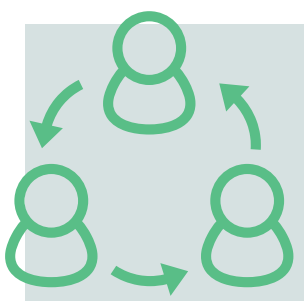
地域の産業政策における行政の役割は、行政自らが中心となって産業の誘致や推進を構想・実現することを主眼としていた従来型とは異なり、民間主体によるビジネスマインドの誘導やサポート、クラスター形成等による地域産業集積の活用等に期待が高まっています。

こうした考え方は、平成27年8月に示された「国土形成計画」においても、地域発のイノベーションを契機とした新産業の創出や既存企業の高付加価値等、内発的発展を促すことが重要であるとして、地元事業者のニーズに対応した教育・研究プログラムの実践に努め、地域産業を担う人材を育成する取組や、こうした取組を通じ、「起業増加町」を増やしていくことを推進しています。

地域課題の解決と地域経済の活性化に向けて

田辺市では、これまでの経過、社会情勢を踏まえ、空き家や空き店舗の増加、地域の担い手が不足するなどの地域課題の解決や、世界遺産「熊野古道」、世界農業遺産をはじめとする多くの地域資源の活用に向け、企業の営利活動との共通項を探し出し、本業を生かしてできるビジネスモデルの創出、ビジネスリーダーの育成を目指した「たなべ未来創造塾」を平成28年度に創設いたしました。

段階を経ながら人材を育成することにより、ビジョン構築能力、リーダーシップ、意欲力、行動力等の資質の習得並びにプロジェクト創出による地域課題の解決と地域経済の活性化の実現、地域の担い手育成、CSV(共通価値の創造)の醸成に向け、取り組んでいます。



地域みんなで支える 「産学官金」が一体となった組織体制

富山大学地域連携推進機構との覚書締結

平成25年より富山大学地域連携推進機構の金岡省吾教授から助言・指導を仰ぐとともに、平成26年度より価値創造プロジェクト検討委員長として取りまとめ頂く中で、「たなべ未来創造塾」の企画立案を行ってきました。

しかし、こうした取組を実践していくためには、引き続き、富山大学地域連携推進機構からの助言・指導が不可欠であるとともに、さらなる連携深化が必要との認識から、平成28年1月に「人材育成の連携に関する覚書」を締結する中で、共同研究員として田辺市から富山大学に職員を派遣し、ノウハウの習得やカリキュラムの構築に取り組んでまいりました。



日本政策金融公庫田辺支店との経営者育成に係る連携協定

田辺市と日本政策金融公庫田辺支店では、「たなべ未来創造塾」の実施にあたり、カリキュラム作成や講師選定、塾生候補者の紹介、塾生へのヒアリング同席及び助言など連携した取組を実施するとともに、塾の進捗状況にあわせて公庫主催の各種講座の開催や個別融資相談などを連動させることで一体となった取組を実施してまいりました。

その結果、第1期生から空き家をリノベーションする事例が生まれ、日本政策金融公庫田辺支店は、無担保・無保証で700万円の融資を実行いたしました。

今後、こうした動きをさらに加速させていくため、田辺市内の事業者の産業振興に寄与する事業の実施に努めることを目的に、平成29年5月に「経営者育成に係る連携協力に関する協定書」を締結し、融資事例が次々と生まれています。



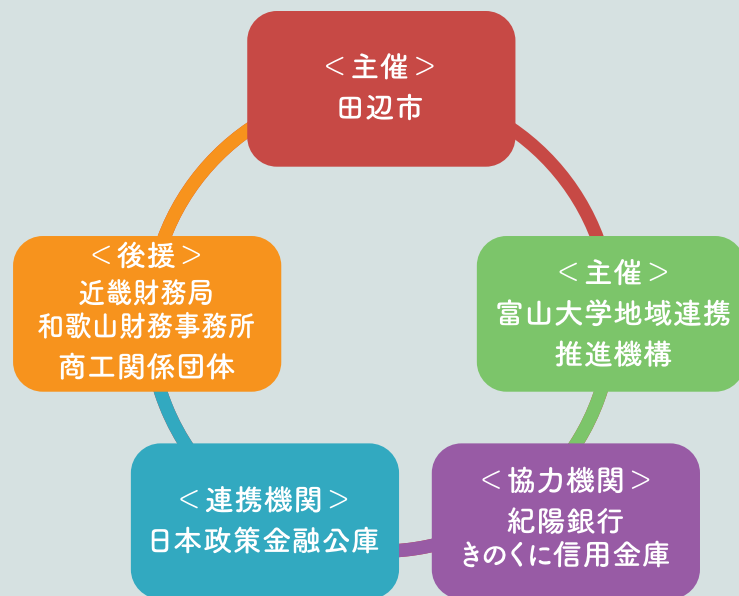
田辺市と、「魚津三太郎塾」や「とやま呉西圏域共創ビジネス研究所」などの事例を手掛ける富山大学地域連携推進機構が主催となり、地元金融機関、関係機関等にも参画頂く中で、「産学官金」が一体となった運営体制を構築し、塾生の新たな挑戦を支援しています。

<主催> 田辺市、富山大学地域連携推進機構

<連携機関> 日本政策金融公庫田辺支店

<協力機関> 紀陽銀行田辺支店
きのくに信用金庫田辺支店

<後援> 近畿財務局和歌山財務事務所
田辺商工会議所
牟婁商工会
龍神村商工会
中辺路町商工会
大塔村商工会
本宮町商工会



段階的に学び、自ら考える。 ビジネスプラン構築に向けた実践的プログラム

専門家や実践者などによる講義を開催するとともに、塾生同士のディスカッションを通じて、地域課題や自分の課題を深く掘り下げることで、塾生自らが具体的なビジネスプランを考えていきます。

基礎知識の習得

コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス、CSV、クラスターなどの知識を学ぶとともに、全国の様々な事例を参考にしながら、ローカルイノベーションの最前線を学びます。

ケーススタディ

地域課題の解決や地域資源を活用したビジネスの実践者から具体的な取組やノウハウについて講義頂くことで、地域課題・自社の課題は何か、自社の強み・活用できる地域資源は何かを考えていきます。

ビジネスプランの構築 (演習)

ヒアリングやワークショップなど演習を通じて、課題の抽出やコンセプトを具体的なビジネスプランに落とし込み、塾生同士のディスカッションを通じて、何をすれば自分の企業が生き残れるかを考えていきます。

ビジネスプランの発表 (修了式)

金融機関や関係機関、市関係者、報道機関等に出席頂く中で塾生自らが考えたビジネスプランを発表します。



修了式が終わりではない

修了後も、活動報告会やセミナーなどを通じて、ブラッシュアップするとともに、塾生同士が継続的に連携を図っています。また、ビジネスプランを実践した修了生が、たなべ未来創造塾や高校、大学などに講師として出向き、次の担い手を育成しています。



大学生フィールドワーク



セミナー「地域の編集学校」



活動報告会



たなべ未来創造塾とたなべアカデミーの交流会

第1期

平成28年7月～平成29年2月

第1期生



赤田 政則
(AKARI～熊野コネクトショップ～)



岡本 和宜
(岡本農園)



竹林 陽子
(Colographical)



横田 圭亮
(株式会社 横田)



榎本 将明
(有限会社 榎本家具店)



金丸 知弘
(食品加工・販売 CONSERVA)



中村 文雄
(株式会社 中村工務店)



吉本 健
(美吉屋旅館)



円座 史人
(介護福祉士)



喜田 義人
(株式会社 紀伊民報)



堀 将和
(株式会社 堀忠商店)

※事業所名は、令和3年3月現在のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
開講式 7/16(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大学副学長ほか
2日目 8/6(土)	地域活性化論①～小さな拠点、新たな公、CSV～ ・地域活性化とは	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
3日目 8/20(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 ・データから見る地域課題とは	(株)日本能率協会総合研究所 主幹研究員 塩見一三男
4日目 9/3(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インバウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 田辺市観光振興課
5日目 9/10(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 覚
6日目 10/8(土)	地域資源を生かした新たな価値創造 ・熊野米プロジェクト、くまみつかステラ	(株)たがみ 田上雅人 パニラカフェ 芝ゆかり
7日目 10/22(土)	秋津野ガルテンの挑戦 ・地域課題の解決をビジネスの手法で考える	秋津野ガルテン (株)秋津野 代表取締役社長 玉井常貴
8日目 11/5(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
9日目 11/19(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 上席主任研究員 岩名礼介
10日目 12/3(土)	<演習①>ワークショップ ・自社、地域の課題抽出	(株)リンクアンドモチベーション シニアコンサルタント 玉井淳平
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 1/7(土)	<演習②>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/21(土)	<演習③>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 2/4(土)	<演習④>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/18(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第2期

平成29年8月～平成30年2月

第2期生



浅賀 由貴乃
(焼きたてばんD'oh!)



稲田 卓史
(とらや薬局)



中川 雅也
(株式会社 中川)



野久保 太一郎
(千秋園)



石崎 源太郎
(とりとんファーム)



田中 弘志
(土地家屋調査士田中事務所)



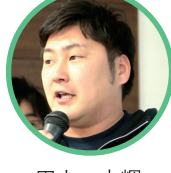
中島 康代
(中島大介設計工房)



登坂 知広
(アップライフ(株))



石山 登啓
((株)高垣工務店)



田上 太輝
(農家イタリアン sorriso)



中山 智文
(atelierbobo)



濱田 元輝
(青潮堂 濱田表具店)

※事業所名は、令和3年3月現在のものとなります。

カリキュラム

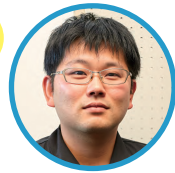
日程	カリキュラム	講師等
開講式 8/5(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大学副学長ほか
2日目 8/19(土)	地域活性化論①～小さな拠点、新たな公、CSV～ ・地域活性化とは	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
3日目 9/2(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 ・データから見る地域課題とは	(株)日本能率協会総合研究所 主幹研究員 塩見一三男
4日目 9/16(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス ・大型プロジェクトに伴うビジネスチャンスは	田辺市長 真砂充敏
5日目 9/30(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インバウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
6日目 10/14(土)	出汁(だし)による地域活性化 ・観光客の受入れと物販の好循環づくり	中原水産(株) 代表取締役 中原晋司
7日目 10/28(土)	地域資源を生かした新たな価値創造 ・熊野米プロジェクト、theCUE	(株)たがみ 田上雅人 タモリ舎 中村文雄、横田圭亮(1期生)
8日目 11/18(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 覚
9日目 12/2(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 上席主任研究員 岩名礼介
10日目 12/16(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 1/6(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/20(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 2/3(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/18(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第3期

平成30年7月～平成31年2月

第3期生



稲垣 幸生
(酒味道楽 なじみ)



太田 有哉
(太田商店(太田うなぎ店))



尾崎 務
(ACE HAND)



小向 秀樹
(小向農園)



関根 真誉
(auショップ田辺新庄)



高橋 あいか
(ayeto sound create/親子リトミック教室リトミこ)



初山 徹
(はつやま鮮魚店)



濱口 純
(アルティエ(株))



林 拓郎
((株)樹かげ)



森川 真帆
((株)モリカワ)



山中 崇嗣
(紀乃国工芸社)

※事業所名は、令和3年3月現在のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 7/14(土)	導入講義 地域活性化論①～新たな地域づくり、CSV～	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
開講式 7/28(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大学長ほか
3日目 8/11(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 ・データから見る地域課題とは	㈱日本能率協会総合研究所 主幹研究員 塩見一三男
4日目 8/18(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス 中心市街地で起こるイノベーション	田辺市長 真砂充敏 修了生
5日目 9/8(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インパウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
6日目 9/22(土)	地域資源を生かした新たな価値創造 ・熊野米プロジェクト、地元で愛される酒「交」	㈱たがみ 田上雅人 ㈱堀忠商店 堀 将和(1期生)
7日目 10/13(土)	小規模多機能自治の取組 ・10年後の地域の理想像を考える	南砺市南砺で暮らしません課長 市川孝弘 富山大学地域連携戦略室 定村 誠
8日目 10/27(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 覚
9日目 11/10(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱ 上席主任研究員 岩名礼介
10日目 12/1(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 12/15(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/12(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 1/26(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/9(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第4期

令和元年7月～令和2年2月

第4期生



岡野 祐己
(チャイニーズ酒場 福福)



北川 雄一



更井 亮介
(料理人)



鈴木 格
(鈴木ぶどう園)



鈴木 大輔
(南紀ガス(株))



坪井 直子
(有)ツボ井)



中田 真寛
(㈱中田)



三浦 彰久
((株)Reborn)



矢野 玲子
(baroonworkshop)



山崎 貴宏
(行政書士ABC法務研究所)



山本 有輝
((株)高垣工務店)



和田真奈美
(南紀みらい(株))

※事業所名は、令和3年3月現在のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 7/13(土)	導入講義 地域活性化論①～新たな地域づくり、CSV～	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
開講式 7/27(土)	オリエンテーション、座談会など	田辺市長、富山大学副学長ほか
3日目 8/10(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 人生参加型工務店	富山大学地域連携推進機構 塩見一三男 (株)高垣工務店 石山登啓(2期生)
4日目 8/24(土)	津屋崎ランチの取組を通して ・討論から対話へ、常識を疑う、発明家の発想	津屋崎ランチLLP 代表 山口 覚
5日目 9/14(土)	小規模多機能自治の取組 ひなたの山の物語	南砺市南砺で暮らしません課長 市川孝弘 (株)日向屋 岡本和宜
6日目 9/28(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス 中心市街地のまちづくりを考える	田辺市長 真砂充敏 南紀みらい(株) 赤木靖人
7日目 10/19(土)	地域資源を生かした新たな価値創造・バリューチェーン ・熊野米プロジェクト、地元で愛される酒「交」、BOKUMOKUプロジェクト	㈱たがみ 田上雅人 ㈱堀忠商店 堀将和(1期生) (有)慶本家具店 慶本将明(1期生)
8日目 11/2(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インパウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田稔子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
9日目 11/16(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
10日目 11/30(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱ 社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
11日目 12/14(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/11(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
13日目 1/25(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/8(土)	最終プレゼンテーション、修了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長、富山大学副学長ほか



第5期

令和2年8月～令和3年2月

第5期生



榎本 大志
(菓子工房HOCCO)



小山 葵
(株)onlyonebenefit



土井 隆司
(theCUE)



那須 一徳
(株)紀州童



野村 晃大
(紀州物産(株)/田辺自動車学校)



濱田 朝康
(株)濱田



松本 麻佐子
(G.WORKS・こすげパーク振興会)



松本 一寿
(松本農園)



森 智宏
(株)紀の国設備



山本 玲子



横矢 雄一郎
(有)ワイズカンパニーギャル

※事業所名は、令和3年3月現在のものとなります。

カリキュラム

日程	カリキュラム	講師等
1日目 8/1(土)	開講式・導入講義: 地域活性化論①～新たな地域づくり、CSV～	田辺市長ほか 富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾
2日目 8/22(土)	地方創生から考える地域課題と地域活性化 人生参加型工務店	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾 (株)高垣工務店 石山登啓(2期生)
3日目 9/5(土)	田辺市の新たなまちづくりとビジネスチャンス 縁を結び交流と協働を生み出す拠点へ	田辺市長 真砂充敏 南紀みらい(株) 和田真奈美
4日目 9/19(土)	地域資源を生かした新たな価値創造・バリューチェーン ・熊野米プロジェクト、地元で愛される酒「交」、鰻と梅の仲直りプロジェクト	(株)たがみ 田上雅人 機電忠商店 堀 将和(1期生) 太田商店 太田有哉(3期生)
5日目 10/10(土)	超高齢社会ビジネスの可能性 ・地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名礼介
6日目 10/24(土)	小規模多機能自治の取組 地域課題解決と企業経営	南砺市南砺で暮らしません課長 市川孝弘 丸進商事(株) 塚田高史
7日目 11/7(土)	世界遺産熊野古道の価値をビジネスチャンスに ・インバウンドのビジネスチャンスを探る	田辺市熊野TB 会長 多田絵子 美吉屋旅館 吉本 健(1期生)
8日目 11/21(土)	空港型地方創生への挑戦 ・空港を起点とした地域経済の活性化	(株)南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 森重良太
9日目 12/5(土)	地域活性化論②～これまでの復習、CSV～ ・子育て世代の移入とビジネスの両立	富山大学地域連携戦略室長 教授 金岡省吾 舟橋村生活環境課長 吉田昭博
12月	運営事務局による塾生へのヒアリング・相談 ・各1時間程度	運営事務局
10日目 12/14(土)	<演習①>一行コンセプト ・5分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
11日目 1/16(土)	<演習②>三行コンセプト ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
12日目 1/30(土)	<演習③>中間プレゼン ・3分でのプレゼン&ディスカッション	運営事務局
修了式 2/13(土)	最終プレゼンテーション、終了証授与、座談会 ・3分でのプレゼン、ポスターセッション	田辺市長ほか



修了生のその後



1～4期 ピックアップ事例

第1期



僕たちの畑は僕たちで守る 農人と森の番人プロジェクト

岡本和宜(岡本農園)

農業者の高齢化や作付面積の減少、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境はますます厳しくなっています。特に鳥獣害については、年々被害が拡大しており、この地域課題を解決しないと自分たちの畑を守ることができないという思いから岡本和宜さんが中心となり、地域の若手農家で「チームHINATA」を結成しました。

また、獲るだけでなく、解体して食べるまでを一体的に取り組むことで持続可能な活動にしていこうと、食肉加工場の誘致やジビエ料理試食会、狩猟体験などの活動を通じて、鳥獣害という地域課題が地域資源へ、そして地域ビジネスへと変わりつつあります。



第1期 第2期 第4期



Hoso backyard house -theCUE-

中村文雄((株)中村工務店)横田圭亮((株)横田)
田中弘志(土地家屋調査士田中事務所)鈴木大輔(南紀ガス(株))

田辺市の中心市街地は熊野詣の宿場町として栄え、江戸時代には30近い宿があり、多くの参詣者が宿泊していたと言われています。しかし、最近では紀伊田辺駅に降り立っても、熊野古道沿いの地域にすぐに向かうことが多いのが現状でした。

そのため、かつてのまちなかの賑わいを取り戻そうと、LLPタモリ舎を結成し、裏路地にある築80年の空き家をゲストハウス&シェアハウス&カフェバーの複合施設「the CUE」にリノベーションしました。

田辺市を訪れる観光客と移住者、地域住民がつながる(エンゲージメントする)拠点にしたいという思いが共感を呼び、多くのコミュニティが生まれる心地よい空間となっています。



第1期



東京から龍神村へ移住 café、瓶詰食品工房、パン屋を開業

金丸知弘(食品加工・販売CONSERVA)

イタリアで料理やマーケティングを学んだ後、東京でのシェフの経験を経て、2016年4月に東京から田辺市龍神村へ移住した金丸知弘さん。地域で収穫される少量多品目の果物や野菜を活用した無添加ジャム、イタリア仕込みのパンを製造販売する「CONSERVA」をオープンしました。

その後、龍神村に移住してきたクリエイターたちと連携したイベントを実施したり、近くの空き家を買取り、移住体験や企業研修に活用できる滞在型宿泊施設にリノベーションする取組にも挑戦するなど、地方での新たな暮らし方をカタチにしています。



修了生のその後

第1期



人との交わりでできた日本酒「交」

堀 将和((株)堀忠商店)

世界文化遺産「熊野古道」を訪れる外国人観光客は年々増加しているものの、これまで田辺市には、地域の食を味わいたいというお客さんに提供できる地酒がありませんでした。

こうしたことから、堀将和さんは、酒米ではなく、地元産の食用うるち米である「熊野米」を活用した日本酒を作ろうと、県内の酒蔵に協力を依頼し、杜氏と何度も打ち合わせをしながら酒を仕込み、地元のサポートメンバーに協力を得ながら、ワークショップなどを通じて人が交わることで今までにない日本酒が生まれました。堀さんのこれからも人と人をつないでいきたいという思いから「交」と名づけられました。



第1期
第2期



あかね材(虫食い材)に光を BokuMokuプロジェクト

榎本将明((有)榎本家具店) 竹林陽子(Colographical)
中川雅也((株)中川)

木材価格の低下や林業事業者の減少により、枝打ちがされず枯れ枝が残ったスギやヒノキにスギノアカネトラカミキリによる被害が増加しています。こうした被害をおこしている木材は強度や品質には問題ないものの、見た目が悪いことから「あかね材」として安い価格でしか売れず、伐採も進まないという悪循環に陥っています。

そのため、市内の林業者、製材所、木工所、家具店、デザイナーなどの若手事業者がプロジェクトチーム「BokuMoku」を結成し、ありのままの素材の良さを生かした地域のものづくりに取り組んでいます。



第2期



田辺を好きになるパン屋 焼きたてぱんD'oh!

浅賀由貴乃(焼きたてぱんD'oh!)

たなべ未来創造塾を通じて地域のことが大好きになった浅賀由貴乃さん。駅前商店街の空き店舗を活用してパン屋を新規創業しました。パンを通じて地域を知ってもらいたいと「地域コラボパン」として、同期生の野久保太郎さんが栽培する多品種の柑橘を活用した季節のみかんパンなどを販売しています。他にも地域の子どもたちに愛されワクワクする店づくりを目指し、落書きコーナーや学生無料ドリンクバーなどにも取り組み、駅前商店街の賑わいに大きく貢献しています。



第2期



子どもたちが憧れる農業を目指して

野久保太郎(十秋園)

農産物の価格低下により農業所得が低下し、その結果、農業の後継者が不足しています。

こうした課題を解決するため、魅力ある農家を増やし、次世代に農業を引き継いでいこうと、年間約30種類もの柑橘が収穫できるという自園の強みを生かして、地域の子どもたちと一緒に「子どもマルシェ」を開催したり、地域の農産品加工工場「きてら」や同期生で「焼きたてぱんD'oh!」を開業した浅賀由貴乃さんらと連携し、加工品開発や“地域コラボパン”への食材提供など、子どもたちが憧れる農業を目指して活動しています。



第1期



竹害から地域を救いたい 「熊野の橋渡し」

赤田政則(AKARI~熊野コネクトショップ~)

放置された竹が、家や畑への日の光を遮り、農作物の育ちも悪くなるなど、森林環境や生活環境に影響を及ぼしています。

一方、田辺市は、世界文化遺産「熊野古道」や世界農業遺産といった地域資源を有し、外国人観光客が大幅に増加するなど、その魅力が世界に広がっています。

赤田政則さんは、竹を伐採し被害を低減しつつ、世界中から田辺市を訪れる観光客に「箸」として使ってもらうことで環境への負荷を低減しながら、持続可能な世界遺産の保全へと役立てることができないかと活動を行っています。



第2期



くるまのことは何でも相談に乗ります くるまを置かないくるま屋

登坂知広(アップライフ(株))

中心市街地では、空き家や空き店舗が増加するとともに、高齢化などの地域課題を抱えています。

登坂知広さんは、こうした課題解決に向け、商店街の空き店舗を活用し、車のことなら何でも相談に乗りますという気軽に立ち寄れる自動車サポート事業を立ち上げました。

空洞化が進む中心市街地の賑わい創出に寄与するとともに、車の相談事を通じて地域のお年寄りや元気なうちから関わりながら、将来的には外出送迎支援などのサービスを始めることにより、安心して暮らせる生活サポートまでを一体的に取り組んでいきたいとしています。



第2期



食の安全と健康な鶏を追い求めて

石崎源太郎(とりとんファーム)

日本の畜産における飼料の9割以上が外国産を使用しており、安心安全な食を提供してほしいという消費者ニーズに応えられていない現状があります。

そのため、とりとんファームでは、これまで廃棄されていた身近な未利用食材を発酵して飼料に活用するとともに、近隣のしいたけ栽培施設から出る廃菌床を鶏小屋の発酵床に利用するなど安心安全な食の提供にこだわり続けています。また、手作りの鶏舎で平飼いすることで健康な鶏を育て、将来的には、養豚や加工品開発などにも取組の幅を広げていきたいと石崎さんの挑戦はまだ続きます。



第2期



お仕事創造空間「シリコンBAR」

石山登啓((株)高垣工務店)

全国的に人口減少や少子高齢化などの様々な地域課題を抱えている中、田辺市では全国平均を上回るスピードで人口減少が進んでいます。特に、高校を卒業し大学進学や就職などで市外県外に転出する若者の社会減少が著しく、その要因の一つに「自分が働きたい仕事がない」ことが挙げられます。

そのため、石山登啓さんは、セミナーやワークショップなどを通じて、新しいことにチャレンジしたい人たちが集まる空間、交流する拠点を創出することで、自分たちの仕事は自分たちで作ろうと「シリコンBAR(知理混場)」を立ち上げました。





空き家管理サービス「たなばん」

田中弘志(土地家屋調査士田中事務所)

田辺市の空き家率は18.5%。全国平均の13.9%を大きく上回っています。さらに、その空き家のうち52.2%が駅から2km以内の市街地に集中するなど、大きな地域課題となっています。(平成25年住宅・土地統計調査より)

しかし、老朽化された空き家がそのまま放置されていたり、「荷物が放置されている」「知らない人には貸したくない」などの理由から活用される空き家が非常に少ないというのが現状です。

そのため、空き家管理を受託することで、所有者との信頼関係を構築し、その後の活用につなげようと、2期生の田中弘志さんが中心となり、美装業者、司法書士とともに空き家管理サービス「LLPたなばん」を結成しました。



木を切らない林業へ 林業ベンチャー(株)中川の新しい山づくり

中川雅也((株)中川)

貿易関係の仕事に従事したあと、森林組合勤務を経て、林業ベンチャー(株)中川を設立。

地域の約9割を占める森林。しかし、伐採面積に対して4割しか植栽されておらず、このままでは熊野の山を守ることができないという状況を目の当たりにし、耕作放棄地を活用しながら、地域事業者とともに地域のどんぐりを苗木に育て山に還す「熊野の森再生事業」に着手。自社・地域事業者が利益を生み出しつつ、山の再生にも寄与する持続可能な新しい山づくりがスタートしています。(GOOD DESIGN賞受賞)



鰻と梅の仲直りプロジェクト 「紀州南高梅ひつまぶし」

太田有哉(太田商店／太田うなぎ店)

鰻業界は、漁獲量の減少による価格高騰で危機的な状況にあります。一方、梅の課題を見ると、規格外の商品は大きく値段が下がってしまっています。

こうした両方の課題を解決したのが「紀州南高梅ひつまぶし」。これまで食べ合わせが悪いと言われてきた鰻と梅が、最強の食べ合わせに変わりました。(令和元年度プレミア和歌山特別賞受賞)

さらに、これまで廃棄されてきた鰻の骨を肥料にして畑に戻し、廃棄される梅の木をチップにして鰻の燻製へ。鰻屋と農家によるコラボは止まりません。



田辺で子どもを育てたいへ ーひとりじゃなくてみんなで育てようー

高橋あい(親子リトミック教室リトスタNICO)

親子リトミック&知育教室を経営している高橋さん。高橋さんが注目した地域課題は出生率の低下。育児と仕事との両立が困難だったり、経済的不安、育児ストレスなど、子どもを産みたくても産めないという状況となっています。

しかし、ママとママがつながり、みんなで子ども育てる共助が生まれれば、出生率の低下という地域課題を解決できるかもしれない。そんな思いから、コミュニティサロンやママと子どものためのイベント企画、異業種との交流などを通じて、ママコミュニティを広げています。

「田辺でいい」から「田辺がいい!」へ。



耕すシェフへ 「農家イタリアンsorrison」の挑戦

田上太輝(農家イタリアン sorriso)

自社農園で育てたこだわりの減農薬野菜や米、ハーブなどを使ったイタリア料理店を経営。2期生の一級建築士中島さんとコラボし、これまで活用されていなかった祖父のたばこ作業場をリノベーションして「農家イタリアンsorrison」を移転オープン。

地域の食材にこだわったメニューが豊富で、中でも同じく2期生の「とりとんファーム」石崎さんの卵を使ったカルボナーラは絶品。今後は、収穫体験やまき割り体験などのグリーンツーリズムを通じて、みんなで動かす農業を実践したいと田上さんの挑戦は続きます。



田辺市中心市街地に遊べるギャラリー をつくる「yuriisu project」

中山智文(atelierbobo)

田辺市中心市街地は、空き店舗の増加、人口減少や高齢化といった地域課題を抱えています。そのため、中山さんは、職人やクリエイターが集まる「遊べるギャラリー」をつくらうと「yuriisu project」を始動、商店街裏通りの空き店舗を活用し、ギャラリー兼CGパース事務所をオープンしました。

日常使いの椅子としてはまず使われない「揺り椅子」。けれども座ってみるとゆらゆら揺れて心地よく、自分の気分で揺れたり止まったり。人が集まり、出会い、会話が起これ、ヒトやモノ、シゴトの循環が生まれる拠点を狙っています。



食で育むコミュニティ ーレストランが地域にできることー

林拓郎(ベーカリーレストランKOKAGE)

林さんは、できるだけ地域の食材を使い、生産者の思いを料理で伝えようと、生産者が栽培した農作物を生産者自ら販売する農家マルシェと、その農作物を使った料理を提供するディナーを組み合わせた「よるマルシェ」などに取り組んでいます。

また、ママの負担を減らしたいという思いから、出張料理人やハウスメーカーとコラボした料理教室など一人一人のお客様に寄り添う活動や、他の飲食店等とコラボしたスタンプラリーなど、食を通じた幅広いコミュニティの形成を目指した林さんの挑戦はまだ続きます。



農村地域に梅蔵をリノベーションした 本格フレンチをオープン

更井亮介(Caravansarai)

帝国ホテル、長野県のオーベルジュでフランス料理に従事。第1回ジビエ料理コンテスト(主催/国産ジビエ流通規格検討協議会 共催/農林水産省・ぐるなび)の鹿肉料理部門で最優秀賞を受賞した経歴を持っています。

チームHINATAの鳥獣害対策に携わることをきっかけにUターンし、1期生らが運営するゲストハウス&シェアハウス&カフェ「theCUE」でシェフとして活躍。その後、農村地域・上芳養地区にある祖父の梅蔵をリノベーションして本格フレンチ「Caravansarai」をオープンしました。子どもたちにいただくことの意味を伝えたいと食育活動にも積極的に取り組んでいます。



修了生のその後

第4期



Happy marche

ー小さな拠点を目指してー

鈴木格(鈴木ぶどう園)

アパレル関係の仕事に従事したあと、妻の実家がある田辺市にIターンし、新規就農。ピオーネやシャインマスカットなど田辺市では珍しいぶどうを栽培しています。鈴木さんが注目した地域課題は、農家戸数の減少と過疎化。その解決に向け、地域住民が集まる「小さな拠点」を作ることによってコミュニティ形成と経済循環に寄与しようと、まずは3期生初山さんのテナントを借り、ぶどう直売所をオープンしました。今後は、地域事業者とコラボしてマルシェを開催、ママや子どもたちなどたくさんの人が集まる拠点到らしていきたいとしています。



第4期



スポーツ用品店の2階をリノベーション

ー子どもたちにスポーツの機会をー

坪井直子((有)ツボ井)

スポーツ用品店を営む坪井さん。しかし、少子高齢化により子どもなどのスポーツ人口は減少しています。スマホやYouTube、ゲームなどの時間が増え、スポーツをする機会が減少することで、体力の低下につながっています。子どもたちの運動神経を発達させるためには、およそ4〜8歳の時期にスポーツをして、体を動かす習慣をつけることが重要だといわれていることに着目し、店舗の2階をリノベーションして、コミュニティスペースを整備、4期生の北川さんと体操教室を実施するなど、健康で元気な子どもを増やす取組を進めています。



第4期



生きづらさを抱えた若者の仲間、居場所、仕事づくりへ「TSUKASAハウス」

三浦彰久((株)Reborn)

就職活動時にうつ病を患い、その後、大手メーカーで働くも約10ヶ月で退社。生きづらさを抱え、5年間全国を転々としたあと、田辺市に移住しました。

様々な人との出会いがきっかけとなり、今では、シェアハウス「TSUKASAハウス」をオープン、全国から生きづらさを抱えた若者を受入れ、仕事や生活にまでしっかりと伴走していくことで、自分らしい生き方を見つけてもらう活動をしています。

悩みを本気で語り、助け合える居場所づくりへ。三浦さん自身が生きづらさを抱えていたときに、ほしいと思ったものが仲間たちとともに少しずつカタチへと変わりつつあります。



第4期



泊まれる羊毛フェルトワークショップ「baroonworkshop」

矢野玲子(baroonworkshop)

海外で広告代理店勤務、羊毛フェルトワークショップ作家及び講師として活躍したあと、龍神村にIターン。空き家を活用し、羊毛フェルトワークショップ&ゲストハウス「baroonworkshop」をオープンしました。矢野さんは、これまで廃棄されていた紀州材の端材や龍神温泉美肌の湯などと、羊毛フェルトを掛け合わせ、これまでにないユニークな視点を取り入れることで、地域の魅力をリメイクしようとしています。オンラインで龍神村への旅行を楽しめるYouTube「エア旅」も開設。新しい視点で地域の魅力を発信しています。



講師陣 & 運営スタッフ

地域の実情にあった地域内外の専門家や実践者を招聘し、専門知識の習得や事例研究を行うことで、ビジネスプランへのヒントを探っていきます。

講師陣



富山大学名誉教授
現・熊本大学熊本創生推進機構
教授 金岡省吾



富山大学地域連携推進機構
地域連携戦略室
講師 塩見一三男



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
共生・社会政策部長
主席研究員 岩名礼介



津屋崎プランチLLP
代表 山口寛



中原水産㈱
代表取締役 中原晋司



パーソルキャリア(株)
エージェンツ事業部
組織開発部
部長 玉井淳平



丸進商事(株)
福祉用具まるしん
代表取締役社長 塚田高史



南砺市南砺で暮らしません課
課長 市川孝弘



舟橋村生活環境課
課長 吉田昭博



一般社団法人
なんと未来支援センター
事務局長 定村誠



一般社団法人
田辺市熊野ツーリズムビューロー
会長 多田稔子



秋津野ガルテン
農業法人株式会社秋津野
代表取締役会長
玉井常貴



(株)たがみ
代表取締役専務 田上雅人



パニラカフェ
芝ゆかり



(株)南紀白浜エアポート
誘客・地域活性化室
室長 森重良太

運営スタッフ



富山大学名誉教授
現・熊本大学熊本創生推進機構
教授 金岡省吾



富山大学地域連携推進機構
地域連携戦略室
特命准教授 尾山真



一般社団法人
なんと未来支援センター
事務局長 定村誠



富山大学地域連携推進機構
地域連携戦略室
地域連携プロデューサー
宮本学
(令和2年9月まで)



日本政策金融公庫田辺支店
支店長 須藤健文



日本政策金融公庫田辺支店
融資課長 大西康平
(令和2年8月まで)



日本政策金融公庫田辺支店
融資課長 葛城晃章
(令和2年9月から)



田辺市たなべ営業室
室長 赤木靖人



田辺市たなべ営業室
係長 鍋屋安則



田辺市たなべ営業室
主査 森口明浩



田辺市たなべ営業室
主事 伊達広哉



南紀みらい(株)
尾崎弘和

※所属や肩書などは令和3年3月現在のものです。
※敬称を略させていただきます。